

常葉学園だより

常葉学園本部
常葉学園大学・大学院
浜松大学・大学院
富士常葉大学・大学院
常葉学園短期大学
常葉学園高等学校・中学校
常葉学園橋高等学校・中学校
常葉学園菊川高等学校・中学校
常葉学園大学教育学部附属橘小学校
常葉短大附属とこは幼稚園
常葉短大附属たちばな幼稚園
常葉学園医療専門学校
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校
常葉リハビリテーション病院

第197号



常葉中・高の校舎改築及び学部新設が計画されている水落校地

大学統合及び 水落校地整備 計画について

常葉学園理事長
木宮 健二

今後とも本将来計画の推進にあたっては、学園関係者が一丸となって努力してまいりますので、どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

知っておきたいこととあります。予定どおり進まないこともありますが、それでは本学園の計画・構想に過ぎません。予定どおり進まないこととあります。

最後にあります。大学統合と学部新設は、所轄庁である文部科学大臣の認可があつてはじめて実現するものであり、それまでは本学園の計画・構想に過ぎません。予定どおり進まないこととあります。

第三は、地域社会への貢献です。統合によって東部・中部・西部の各地域にバランスよくキャンパスを配置することにより、自宅通学の利便性がより高まるよう配慮しました。新設する法学部は、静岡県内において収容力が極端に少ない法学分野の受け皿として、また、看護医療学部は、医療の高度化・複雑化に伴い、依然としてニーズが高い看護師や理学療法士の養成に際するものです。

第二は、特色ある教育研究活動の一層の充実です。統合は決して画一化を意図したものではありません。むしろ教学面におきましては、可能な限り三キャンパス静岡・浜松・富士の自主性、主体性を尊重した特色ある教育研究活動が実践できるよう工夫していきたいと考えています。さらに、学部新設により、新たな付加価値をもった人材養成が可能となり、これまで以上に多様な人材を輩出することができるようになります。

寄稿に際し、まずもって東日本大震災被災地の皆様に心からお見舞いを申しあげるとともに、一刻も早く復興されることを祈念いたします。さて、本学園では、昨年12月の理事会において「大学統合」及び「水落校地整備」という二つの将来計画を決定いたしました。その内容は、学園内三大学と一短大を統合すること、静岡市水落の常葉中・高等学校の校舎を全面改築すること及び同校の隣接地に法学部と看護医療学部を設置することです。本年2月には、大学統合・学部新設事務局を法人本部内に設置し、具体的な事業計画の策定を本格化させています。そこで、この機会を利用して、法人運営の責任者としての立場から将来計画の目的について説明させていただきます。

第一は、経営基盤の強化です。「継続は力なり」と申ししますが、教育事業も例外ではありません。本学園の教育事業を永続的に発展させていくためには、経営基盤の強化をより一層推し進めなければなりません。そのためには、「出」を抑え「入」を増やす工夫が必要です。大学統合によって組織や経費の効率化と合理化を図ることができるばかりか、このことに伴って生ずる余力(人とお金)を有効活用できるという相乗効果を見込むこともできます。さらに、大学統合と学部新設による規模の拡大により、統計上でも明らかにしている学生募集上の優位性が期待できます。

平成22年度 常葉学園卒業式

富士
常葉大



卒業式

学長賞を受賞する学生

計画停電や3月15日に富士宮で発生した地震で予定した会場が被災し、開催が危ぶまれた富士常葉大学の学位記授与式・大学院、留学生別科修了式が18日に本学体育館で無事に举行されました。尚、卒業生の総意により卒業記念品の購入費全額を、東北地方太平洋沖地震の義援金として被災地に送ることが宣言されました。卒業生388名は新しいステージに旅立ちました。

第3回卒業証書授与式

3月15日(火)、3期生の卒業証書授与式が厳粛に執り行われました。

紫藤校長より卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、64名の学生が無事に卒業証書を手にすることができました。巣立っていった卒業生はそれぞれ4月から、県内外で理学療法士として活躍することになっています。



卒業生一人ひとりに手渡された卒業証書



第3期 卒業生たち

平成22年度 第31回卒業証書授与式

平成23年3月18日。晴天のもと、第31回卒業証書授与式が本校講堂でおこなわれ、6年生62名が巣立っていきました。式中、6年生一人ひとりが、自分の「将来の夢」を英語で、続けて日本語で、声高らかに宣言しました。「I want to work hard and support my family. 任された仕事に一生懸命取り組み、責任がとれる人になりたい。」「I would like to be a nurse and care for people. 看護師になり、母のようにすてきな人になりたい。」卒業証書を手にする6年生の瞳は皆、希望に輝いていました。

最後に、5年生によるオーケストラ演奏、「威風堂々」の曲で、6年生を送りだしました。



卒業式に臨む6年生



「威風堂々」を演奏する5年生のオーケストラ

常葉大



静岡新聞 2011年3月16日掲載

卒業式・修了式～東北地方太平洋沖地震への義援金募金～

3月15日、平成22年度常葉学園大学卒業式・大学院修了式が厳粛に举行されました。開式に先立ち3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で、被災した方々に一日も早く平穏な生活が訪れますように思い込めて、黙祷を行いました。また、卒業式後、校友会役員が卒業生に募金と呼び掛け、163,129円の復興への思いの詰まった義援金が集まりました。

【常葉学園大学同窓生へお知らせ】

同窓会では同窓会費より、100万円を3月17日、東北地方太平洋沖地震義援金として、静岡新聞社本社に寄託したことをご報告いたします。

浜松大 ビジネスデザイン学部1期生卒業



ビジネスデザイン学部1期生 亀光勇斗さん

3月14日、平成22年度浜松大学卒業式・大学院修了式・留学生別科修了式がトコハホール講堂にて举行され、卒業生、修了生の計478人が晴れの門出を迎え、それぞれの夢に向けて新たな一歩を踏み出しました。卒業生を代表し、ビジネスデザイン学部第1期生、経営情報学科の亀光勇斗さんが、「これまで遭遇したことのない困難に直面することもある。自分を信じ、まっすぐ突き進んでいきたい」と答辞を述べました。

医療専

卒業式



3月12日にコンコルドホテルで卒業式がありました。スーツや袴を着て式に出席した卒業生達は、一段と輝き、そしてたくましい顔つきになっていました。作業療法士、理学療法士、鍼灸師、柔道整復師、どの資格も国家試験で、楽な道のりではありません。大変な3年間、4年間を思い出しながら卒業証書を受け取る姿は、充実感と未来への期待感が混ざっていました。前日に起きた東日本大震災の影響で参加できない学生もいましたが、無事に卒業式を迎えられました。ありがとうございました。

平成23年度 常葉学園入学式

富士
常葉大

浜松大

常葉
短大常葉
中・高

常葉大

静岡
リハ専菊川
中・高

橘小

橘
中・高たちばな
幼とこは
幼

菊川中学・橘中学 学校新聞コンクール入賞

平成22年度、静岡県学校新聞コンクール 中学・学校新聞の部において菊川中学が優秀賞、橘中学が奨励賞を受賞し、12月13日(月)に新聞会館蘇峰ホールで開かれた表彰式に出席しました。

菊川中学は、平成21年度後期から文化委員による学校新聞づくりがスタート。その第3号で初めてコンクールに参加し、成果を出すことができました。

今後も見やすくわかりやすい紙面作りにつとめ、定期的に発行していく予定です。

橘中学は、今年度の夏のサッカー部・野球部優勝を機に生徒会が学校新聞づくりに挑戦。その記念すべき創刊号が見事奨励賞受賞ということになりました。4月から本格的に新聞づくりがスタートする予定です。



菊川中



橘中

常葉大 教職大学院のいま 「教職大学院 第3回教育フォーラム」

本教職大学院では、2月26日(土)13時からクーパーホール会館において第3回「教育フォーラム」を100余名の参加者を得て開催しました。最初に、東京学芸大学前学長の鷺山恭彦先生に「中核となる教員養成を目指す教職大学院に期待すること」と題した基調講演をしていただきました。続いて静岡県教育委員会や静岡市内の小学校の校長先生方、それに院生を交えて「学校現場が求めている教員とは」をテーマとするシンポジウムを行いました。活発に意見を出し合い、教員養成の現状や課題について、互いに学び合う機会となりました。



▶ 鷺山恭彦先生による基調講演

常葉大 英語英文科 空港フィールドワーク、実施！

例年行われる学外授業「空港フィールドワーク」は、今年度は2月14日(月)に日帰りで中部国際空港(セントレア)に、そして、2月16日(水)・17日(木)に1泊2日で東京国際空港(羽田)に出かけました。授業で事前調査し、班毎に発表した2つの空港の施設や業務について、24名の学生が実地研修をしてきました。セントレアでは、関税に関する講義を「名古屋税関中部空港支署」の係官から受け、その後、実際に出国する場合と同じ身体・荷物検査を受け、免税エリアや通関検査エリアを見学しました。さらに、特別バスで空港滑走路内に出て、降り始めた雪の中、航空機の離発着を目の前で体感しました。羽田では、初日は空港内旅行会社から説明を受けながら国内線ターミナルを見学し、2日目は午前中に昨年新設された国際線ターミナルの見学、午後からJALの客室乗務員訓練センターと機体整備工場の視察をしました。普段なかなか入ることのできない空港内の施設に足を踏み入れ、楽しく有意義な研修となりました。



▶ 整備中のジャンボ機の前で

浜松大 「HUVOC隊」結成 東北地方太平洋沖地震 募金活動展開

浜松大学では、東日本大震災を受け、3月14日、本学卒業式典を皮切りに募金活動を始めました。最初は、ボランティアサークル「ThunderBirds」所属の学生を中心に立ち上がりましたが、現在は「HUVOC隊」という名称で社会貢献・ボランティアセンター発で募金活動を行っています。学科やサークルに関係なく、参加したい学生が自主的に動いています。浜松市内の各地で学生が積極的に募金活動を行っています。



▲ 晴れ姿の卒業生が善意

浜松大留学生 名古屋大学大学院 博士課程合格

インドネシアからの留学生で、浜松大学大学院経営学研究科2年のユリア・ウィングルティさんが、名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程に合格しました。ユリアさんは「日本のホテル業の現状と展望」をテーマに、日本のビジネスホテルの経営戦略について研究しました。浜松大留学生が国立大の大学院へ進学するのは初の快挙です。



▶ ユリア・ウィングルティさん

富山常葉大 東北地方太平洋沖地震 義援金募集活動

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の義援金募集活動を、学友会と社会環境学部との学生有志28名が3月15日よりJR富山駅などで始めました。津波被害の大きかった大船渡市出身の学生も参加し、「静岡に居ても出来ること」はある、「と被災地の人々への想いを胸に活動を続けています。大学として、社会災害研究センターの教員を中心に14日より、被災地入りし、支援活動や情報収集を始めています。



▲ 義援金への協力を呼び掛ける学生

橘中・高 マラソン大会

2月10日、静岡の草薙陸上競技場でマラソン大会が開かれました。当日は晴天でしたがとても寒かったです。しかし走り出すと寒さを忘れてしまいました。中学生男子は6.5キロ、女子は4.2キロ、高校生はそれより500メートル長い距離を走りました。道のりは長くコースも複雑でしたが、なぜだか本番よりもずっと速く走ることができました。来年のマラソン大会も自分の力を精一杯出したいと思いました。



(報道同好会)

菊川中・高 一期生 成人の集い



2003年4月の開校時に入学した1期生が成人を迎え、1月9日(日)本校学生館にて菊川中学第1期生の「成人のつどい」が開かれました。36人の新成人がなつかしの母校に集結。在学当時の先生方がいらつしやる中、晴れ姿を披露しました。校長先生をはじめお世話になった先生方からお祝いの言葉をいただき、新成人を代表して堀内実香さんが「広い視野を持つことも挑戦したい」との決意と、一人暮らしの経験から感じた親への感謝の気持ちを述べました。式典の後、ピアノとして活躍している田辺晃一さんが演奏を披露。その後食堂にて軽食パーティーが開かれました。お天気に恵まれ、再会とそれぞれの成長に喜びを感じたひとときとなりました。

常葉中・高 先輩を囲んで

すでに進学が決まった高校三年生から中学生がお話を聞きました。常葉学園中学校出身の先輩が、自分の進路とどう向き合い、どのような努力をしたか、その過程を分かちあうべく説明してくれました。どの先輩も共通して言えることは、やはり自分一人の力では成し遂げられず、友人、そして特に家族の支えが大きいのということです。今、自分のやるべきことを積み重ね、いつもサポートしていただいていることに感謝の気持ちを持って過ごすことが大事だと教えられました。

▼作成した、パンフレット・冊子等



▲大学キャラクターとして作成した「とことんこりん」グッズ



▲発表終了後、プロジェクト代表者全員で集合

▼発表の様子



会は今年度「DO-ing」に参加した8プロジェクトの代表がパワーポイントを使い、10分間で報告を行い、各プロジェクトの事業提案能力、実施能力、チームワーク等、報告内容から、参加した学生の「人間力」が育っていったことがよくわかりました。

3月3日に平成22年度「DO-ing」プロジェクト報告会を行いました。「DO-ing」とは学生の自発的な活動を支援しよう、社会に出てから求められる様々な能力を育成しようとする「人間力育成事業」のひとつとして本学で実施されている重要なプロジェクトです。報告

常葉大

DO-ing 報告会

菊川中・高

百人一首5連覇達成

2月19日(土) 橘中・高等学校「和敬庵」で、常葉学園内百人一首カルタ大会が開かれました。28回目を迎える今大会は、学園内の小・中・高・短大から25チームの代表が参加し、トーナメントで競い合いました。3時間以上にも渡る熱戦の結果、菊川中・高勢が4連覇を達成しました。今年度優勝したのは菊川中学Aチーム(中学3年 洲鎌晴哉さんと中学2年 増田笙吾くん)。この2人は昨年度もペアを組み、その時は惜しくも準優勝でした。増田くんは「昨年の雪辱をはらし、洲鎌さんと優勝したい」と猛練習に励み、当日もすべての試合で相手を圧倒。

▼1年生と手をつないで入場する6年生



平成23年3月8日(火)、春を思わせる暖かな日差しの中、今年も「6年生を送る会」を行いました。会は3部構成。第1部「会のメインともいえる『卒業おめでとう集会』が全児童・教職員参加のもと、講堂にて行われました。6年生の頭には4年生手作りの冠が光り、会の雰囲気盛り上げます。6年生へのプレゼント、心のこもった出し物と、会は次から次へと続き、最後は、6年生によるリコーダー合奏「トランペット吹きの休日」と合唱「栄光の架橋」が披露され、会場に響き渡る美しい演奏と歌声に、思わず聞き入ってしまいました。第3部の「仲良し班お別れ会」で6年生とお別れをし、会を終了しました。



▲リコーダーを合奏する6年生

橘小

「6年生、ありがとう」
6年生を送る会

1月下旬、私たち2年生は沖縄本島と石垣島へ4泊5日の修学旅行に行ってきました。平和学習ではひめゆり学徒隊として沖縄戦を体験した語り部のお話を聞いたり、戦跡廻りをしたりして平和の大切さを今まで以上に感じました。また西表島のマングローブの森では沖縄の自然に直接触れることができました。この5日間で沖縄の文化や歴史、自然などたくさんのことと学び、充実した修学旅行にすることができました。(報道同好会)



橘高

沖縄修学旅行

洲鎌くんから「今年は(増田くん)に優勝させてもらった」とコメントをもらい、増田くんも「これ以上嬉しい言葉はない」と喜びをかみしめていました。また、今大会の1位から4位まで昨年度同様菊川中・高勢が独占し、菊川黄金時代の到来を告げた大会となりました。そして、昨年度の大会まで3連覇を成し遂げた高校2年 伊東歌菜さんが読みのボランティアとして大会に協力。また、親睦試合として橘高校百人一首同好会との6対1の変則源平戦に挑みました。小学生時代から大会に出場していた伊東さんはハンディをものともせず優勝。会場を大いに沸かせました。



常葉学園中学・高等学校を卒業して、

早いもので10年が過ぎました。常葉学園での6年間はバスケットボール部に所属し、毎日練習に励んでいました。10年前進路を考えるにあたり、当初私は教員になりたいと思っていましたが、家業の後継者として獣医師を目指すことになりました。獣医学科は非常に倍率が高く、十分な準備もなかったためもちろん不合格。私は第二希望で出願してあった同学部の他学科(日本大学生物資源科学部食品科学工学科)に進学し、卒業後に獣医学科2年に編入学しました。編入後は困難の連続でしたが、昨年の3月、無事に獣医師免許を取得することができました。勉強の連続の大学

がんばる卒業生

常葉高

清水 七衣さん

H12年度 卒業
獣医師
日本大学動物病院(研修医)

生活は9年間におよびました。遠回りはしましたが多くの人に出会い、大切な友達もたくさんできました。9年間目標を見失わず達成できたのは、家族の応援があったから、また、よき友、よきライバルが常にいてくれたからだと思います。現在は、日本大学動物病院で研修医として働いています。獣医師の仕事は動物の怪我や病気を治すことはもちろんですが、飼い主さんとのやりとりが非常に重要です。動物と飼い主さんの関係をより良いものにするための手助けをする、ということが根底にあるように感じています。私は、目の前の患者(動物)とその飼い主さんにとってどのような治療法を提案し、行うのが最も良いのか、飼い主さんの気持ちになって考えることができる獣医師になりたいと思っています。仕事は体力的にきついことも多いですが、元気になって帰っていく動物たち、そして笑顔をみせてくれる飼い主さんたちを見ると、そんな大変さは苦になりません。初めはなんとなく目指した獣医師、しかし今ではこの仕事を選んでよかったと思っています。獣医師としての道は始まったばかりです。動物たち飼い主さんたちに真摯に向き合い、「獣医師は私の天職だ」と言えるように、これからも目標を見失わず頑張っていきたいと思っています。

常葉大

創立30周年記念事業～竹野内豊来校～

1月19日、常葉学園大学創立30周年記念行事の締めくくりとして、映画『太平洋の奇跡ーフォックスと呼ばれた男ー』公開記念イベント太平洋戦争を伝えるキャンペーンin静岡が開催されました。

静岡第一テレビの人気アナウンサー徳増ないるさんの司会で、角替弘志学長の戦争体験（静岡空襲）のお話に続き、主演の竹野内豊さん・監督の平山秀幸さんが、学生たちの前に登場すると、会場のたちばなホールには、瀬名中に響き渡るような大歓声がわき起こりました！

竹野内豊さん・平山監督は、角替学長とのトークショーの後、約600名の学生たちと共に、キャンペーンでサイパンに届ける折り鶴を作成、会場全員で平和への祈りをささげました。



常葉大

リハ病院

浜松大学の臨床体験実習



2月15日・16日と2月17・18日に当院にて、浜松大学保健医療学部2年生の臨床体験実習が行われました。1年次も病院全体を見学する見学実習を行いました。今回は患者様の血圧を測定したり、実際に車椅子に乗って患者様の立場になったりと、少し具体性が増してきました。3・4年次の実習に向け更に意識を高めることができたことでしょうか。

橘中・高

スキー教室

中等部3年生と高等部一貫コースの1、2年生が、2月23日（水）～25日（金）まで2泊3日で長野県の菅平ヘスキー教室に行ってきました。高校2年生にとっては2年振りのスキーだったので、最初は感覚を取り戻すのに苦労しましたが、徐々に慣れてきて、とても楽しく滑ることができました。たまに転んでしまうことがありますが、またそれが楽しくて同じグループのみんなと笑い合っていました。また、スキー以外にもレクリエーションがあり、三学年が混ざったチームで雪だるまを作ったり、多種目リレーをやったりしました。普段あまり話することがない先輩や後輩と交流を持つことができたので、一貫生の絆が深まりました。



菊川高

SPAC高校演劇フェスティバル2011

2月20日（日）と27日（日）、両日に渡って静岡県舞台芸術センター主催の「SPAC高校演劇フェスティバル2011」が開催され、本校演劇部も参加・上演の機会を与えられました。今回の課題戯曲はソーントン・ワイルダーの一幕劇で、本校は「ロング・クリスマス・ディナー」を上演しました。27日の公演終了後の合評会で、今年度から「最優秀俳優賞」と「最優秀スタッフ賞」各1名が与えられるとの発表がありました。そのうち「俳優賞」については宮城芸術総監督から「甲乙付けがたい」ということで2名選ばれることとなり、その1名に1年1組の齊藤嘉奈子さんが選ばれました。さらに「スタッフ賞」に2年4組の浦野瑚涼さんが選ばれ、ダブル受賞の快挙となりました。本校の上演作は、アメリカ中部のある名家の90年にわたるクリスマス・ディナーにおける出来事を1時間足らずの上演時間の中に凝縮して描いたワイルダーの一幕劇の代表作です。本校の上演はしみじみとした感動をもたらしたと観客から好評でした。

本校演劇部の鈴木奈美さん（3年1組）の創作演劇脚本『あの川を渡って』が、静岡県高等学校文化連盟主催の「高校生創作劇脚本コンクール」で優秀賞を獲得しました。これは昨年の渡辺萌（めぐみ）さんの最優秀賞に続く快挙です。2月11日（金）にその授賞式が静岡市清水文化センターで開催され、鈴木さんが出席しました。

浜松大

浜松市青少年の表彰「善行賞」受賞



浜松大学ボランティアサークル「ThunderBirds（サンダーバード）」が、平成22年度浜松市「青少年の表彰」善行賞を受賞し、3月10日に浜松市役所で表彰式が行われました。鈴木市長はお祝いの言葉の中で「志とは他人のために何かをするということ。活動を継続して行ってほしい」とエールを送りました。ThunderBirdsは、3年連続の受賞となります。日頃より緊急時の募金活動など、幅広い社会貢献活動に取り組んでいます。

静岡リハ専

フォーラム2011 開催

3月6日（日）本校を会場にして「若手理学療法士のあり方・多様化する医療に対応するために」をメインテーマにしたフォーラムが開催され、卒業生、医療関係者を中心に、50名が参加し、熱心な討議がされました。本校は卒業後もキャリアデザインをサポートすることが確認されました。



パネルディスカッションの風景

常葉高

合唱コンクール

2月23日（水）高校1、2年生合同の合唱コンクールを行いました。各クラス自由に選曲させ、授業、放課後を使い練習してきました。審査員の先生方の評判も良く、「音楽の常葉」を思わせる歌声が響き渡り、どのクラスも練習の成果を十分に発揮しました。改めて、こういう行事が生徒間の団結力を高め、協調性を養う活動になっていることを実感しました。またグランプリに輝いたH2-2は普段から元気もよく、一層まとまりが感じられたようです。

医療専

国家試験



2月27日にはり師、きゅう師、理学療法士、作業療法士の、3月6日に柔道整復師の国家試験が愛知県で実施されました。どの資格も国家資格で、この試験に合格しなければ患者さんに治療することができません。この日を目標に3年間、4年間頑張ってきたので、前日は緊張でなかなか寝付けなかった学生もいましたが、当日は不安を抱えながらも自信をもって試験に挑んでいました。残念ながら合格率100%には達しませんでした。無事に試験も終わり、新たな第一歩を踏み出しました。

常葉短大

短大生も本格的な就職活動準備をする



本学では2月と3月に就職活動に向けた準備として、「春休み就活講座」の開講と「県内短大生のための合同企業説明会」を実施しました。

春休み就活講座には延べ80名ほどの学生が参加し、履歴書やエントリーシートの完成・グループディスカッションの練習・集団模擬面接などを行い、採用試験に備えています。学生は、すでにエントリーした人、これからエントリーする人などいろいろな思いで参加していますが、初めてのことに戸惑いながらも全員真剣なまなざしで臨んでいました。また3月2日には、県内の短期大学が合同で企業説明会を実施し、県内企業18社が参加、学生は約180名が出席しました。どのブースも学生で溢れ、どんな企業内容か、どんな仕事をするのか、どんな学生を募集するのか、などを熱心に聞き入っていました。本学の学生にとって、就職をより真剣に考える良い刺激になり、これからの活動に活かせるものと確信しています。

●平成23年度 学生・生徒・児童・園児・教職員数 平成23年4月1日現在

	学校	内訳	学生・生徒・児童・園児							教職員				
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	教職員	事務職員	非常勤教員	非常勤職員	合計
常葉学園大学	学園本部										48		22	70
	大学院	国際言語文化研究科	2	3					5					
		初等教育高度実践研究科	18	13					31			3		3
	教育学部	初等教育課程	123	126	132	136			517					
		生涯学習学科	65	65	68	72			270	53	18	68	7	146
		心理教育学科	67	75	69	74			285					
	外国語学部	英語学科	113	131	121	110			475	24	11	63	1	99
		グローバル・C学科	67	70	64	67			248					
		造形学科	95	96	84	73			348	12	4	26	2	44
		合計	550	579	528	522			2179	89	33	160	10	292
浜松大学	大学院	経営学研究科	19	19					38			12		
		健康科学研究科	11	10					21					
	ビジネスデザイン部	経営情報学科	85	83	88	97			353	41	12	39	5	97
		サービスと経営学科	71	101	113	130			415					
		健康栄養学科	64	65	67	69			255					
	健康プロデュース学部	こども健康学科	50	37	26	24			137					
		心身マネジメント学科	100	95	82	102			379	66	14	71	7	158
		健康鍼灸学科	12	3					15					
		健康看護復学科	41	9					50					
		理学療法学科	49	52	38				139					
常葉学園大学	学部	作業療法学科	33	20	17				70	22	4	29	3	58
	留學生別科		15						15			2	2	2
	合計	550	474	421	422			1867	129	30	153	15	327	
	大学院	環境防災研究科	5	3					8					
	総合経営学部	総合経営学科	125	165	169	194			653	29	13	40	4	86
	環境防災学部	環境防災学科				88	106		194	10	6	18	34	134
	保育学部	保育学科	84	85	85	92			346	13	4	26	2	45
	社会環境学部	社会環境学科	73	97					170	10	4	9	2	26
	留學生別科		0						0					
	合計	287	350	342	392			1371	62	27	93	9	191	
常葉学園短期大学	本科	日本語日本文学科	63	50					113	8	3	17	3	31
		英語英文科	60	60					120	8	3	18	3	32
		保育科	229	210					439	20	10	59	6	95
		音楽科	35	41					76	9	2	59	3	73
	小計	377	361					738	45	18	153	15	231	
	専攻科	国際語文専攻	8	1					9					
		保育専攻	12	4					16					
		音楽専攻	24	26					50					
	小計	44	31					75						
	合計	421	392					813	45	18	153	15	231	
常葉学園	高等学校	普通科	273	201	170				644	33	4	23	1	61
	中学校		48	34	45				127	9	1	14	24	61
	合計	321	235	215					771	42	5	37	1	85
	高等学校	英数科	31	31	33				95					
		普通科	222	310	271				803	50	6	54		110
		音楽科	16	10	12				38					
	小計	269	351	316					936	50	6	54		110
	中学校		90	68	68				226	15	1	13	2	31
	合計	359	419	384					1162	65	7	67	2	141
	高等学校	普通科	300	308	274				882					
	美・テ科	45	41	41				127	55	6	41		102	
	小計	345	349	315				1009	55	6	41		102	
	中学校		57	52	54			163	13	1	8		22	
合計	402	401	369					1172	68	7	49		124	
常葉学園	小学校		53	55	36	58	66	61	329	27	2	16	1	46
	とこは幼稚園		0	83	90	71			244	11	1	5		17
	たちばな幼稚園		0	80	83	74			237	11	1	4		16
	合計		53	138	129	129	66	61	810	49	4	25		94
		理学療法学科				33			33					
		作業療法学科				16			16	15	3	3	1	22
	医療専	鍼灸学科			15				15					
		柔道整復学科			19				19					
	合計			34	49				83	15	3	3	1	22
	常葉静岡リハ専	理学療法学科	60	43	43	75			221	10	5	39	1	55
常葉リハビリテーション病院														
	合計								71			29	100	
	総合計	3003	3111	2545	1663	66	61	10449	574	258	779	106	1717	



静岡リハ専

就職内定率100% 3年連続達成!!

本校は、3期生の卒業生を輩出し、3年連続で就職内定率100%を達成しました。就職先は病院だけでなく、老人保健施設、訪問リハビリテーション、デイケアなど多岐に渡っています。

近年、理学療法士に求められるものは治療技術だけでなく、患者様からの信頼の獲得など、人間性に係わることが増えてきています。

本校で学んだ知識、技術を活用し、患者様の事を第一に考えられる理学療法士として頑張っていってほしいと思います。



常葉短大

卒業演奏会・修了演奏会

3月9日(水)、常葉学園短期大学音楽科第42回卒業演奏会が静岡音楽館AOIにて行われました。演奏した学生は下記の通りです。



川崎千穂、三浦麻未、古池千紗、長谷川美愛、三浦麻美、富士原明美、松島花帆莉、小林沙彩、鈴木理子、棚山彩華、杉山杏奈、平井麻知子、小林沙彩、坂本茉莉、富士原明美、徳永若菜、松下未来、富士原明美、棚山彩華、川口渚央、及川智史

3月10日(木)、常葉学園短期大学専攻科音楽専攻第40回修了演奏会が静岡音楽館AOIにて行われました。演奏した学生は下記の通りです。

及川智史・吉永哲道先生、牧野早央里・稲本志保、坪井のどか・及川智史、近藤千晶・稲本志保、中島志帆・石間大貴、佐藤晃美・高瀬健一郎先生、三木友紀子・遠藤慶子先生、平野聖子・及川智史、稲本志保・A.セメツキ先生

両日ともに大盛況の中、演奏会を閉じることができました。ご来場有難うございました。

とこは幼稚園の砂場も楽しいね



とこは幼稚園

とこは・たちばな幼稚園交流会

たちばな幼稚園

またあそぼうね!



3月14日、とこは幼稚園・たちばな幼稚園の年少組が、合同で交流会をおこないました。今回は、とこは幼稚園の園庭で一緒に遊びました。築山の上に登ったり、遊具で遊んだり、泥団子を作ったり・・・初めて会う友達にドキドキしている様子でしたが、少しずつ遊びを通して距離が近づき、一緒に話したり、遊んだりする姿が見られました。あっ!という間に交流の時間は終わったので「今度はお昼も一緒に食べよう!」「年中さんになったら、たちばな幼稚園で遊ぼう!」と約束をしました。

年中組も2月に新しい園舎のたちばな幼稚園で交流会をおこないました。とこは・たちばなの混合チームを作ってサッカーやリレーをして遊んだり、大きな新しい遊具で遊んだり、お弁当も一緒に食べました。年中組の交流会は2回目なので、1回目よりもっと仲良しになりました!これからも両園の交流の機会を大切にしていきたいと思っています。

仲良くなったお友達と
元気にかけっこ!

大きな木のしたで